

みやざき インターンシップ 活用ガイド

Miyazaki internship guidebook



1 インターンシップとは



■ そもそもインターンシップとは何か？

日本でのインターンシップの定義は、

学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと

とされています。

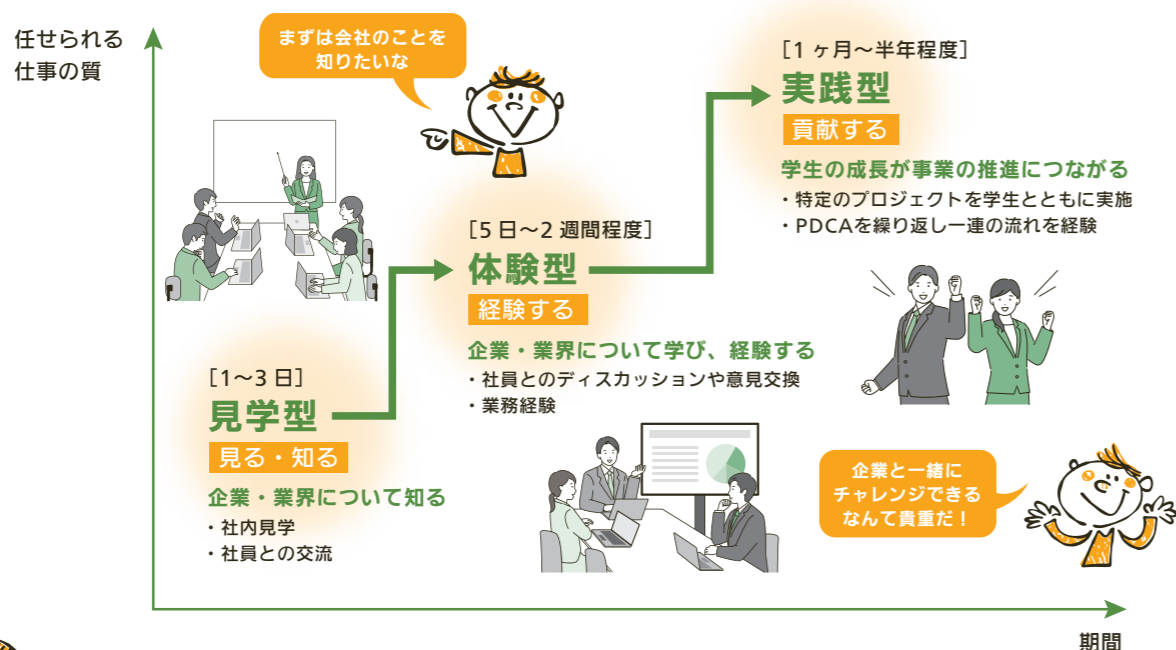
※出典：三省合意文書（文部科学省、厚生労働省、経済産業省）「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（平成9年9月18日策定、平成27年12月10日一部改正）

また、インターンシップには学生だけでなく企業にも様々なメリットがあります。

- 企業・業界広報、学生との接点づくり
- 学生の力を活用した業務の推進、社内の人材育成
- 将来を担う若者の育成、大学等の教育に産業界のニーズを反映させる機会

つまり、企業と学生が目的意識をもって実施することで、双方の成長につながるインターンシップが実現できるのです。

■ インターンシップの種類



インターンシップには様々な種類があり、それぞれの特徴を理解し、目的に応じたプログラム設計が重要

2 素朴な疑問 Q&A

Q アルバイトと何が違うの？

A 目的が違います。

●インターンシップ

企業と仕事内容の理解、学生自身の適性（強み）理解が主な目的。大学によっては単位認定されることもあります。

●アルバイト

労働の対価として収入を得ることが主な目的。



単なるワーカーではなく、仲間として捉える。

逆に、アルバイトでもできる仕事を担当してほしい場合は、インターンシップの導入は避けたほうがよいでしょう。

Q 中小企業に学生が来る？

A 学生は成長の場を求めています。

学生に会社のビジョンや事業内容、近い将来に実現したいプロジェクトなどを伝えましょう。それに共感することで学生はモチベーションが上がります。また、人手が不足している中小企業は、学生が活躍できる場が多いともいえるのです。自社の魅力を伝え、学生が成長できる機会を提供することで、インターン生の採用につながります。

Q フォローやサポートが大変そう…

A 人材育成の絶好の機会！

困ったときはコーディネーターの活用を。



もちろん、社員やアルバイトと同様にサポートが必要です。しかし、インターン生のサポート役を若手社員に任せることで、社内の人材育成につながっているという事例もあります。これは、新入社員を毎年採用するわけではない中小企業ならではの活用法と言えるでしょう。また、困ったときは県内で活動するコーディネーターの活用もオススメです。マッチングの段階から、企業・学生双方のニーズをすり合わせ、目的を共有。スムーズな導入をサポートします。



3 インターンシップ活用事例

就活生に人気!!

大学からのニーズが高い

事例1 見学型 [1~3日]

企業の事業説明やグループワーク、社員との座談会などを通して、企業や業界について総合的に理解してもらうことを目的に実施。

MANGO株式会社

[Company Profile] 宮崎市広島2丁目5-16 興亜宮崎ビル1・4・6F / 従業員129名

仕事体験から会社のカルチャーまで、最短で最大限に魅力を伝える

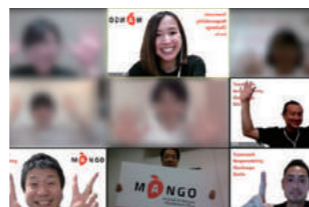
デジタル広告を活用して、全国の企業のデジタルマーケティングを支援するMANGO株式会社。会社の価値観を学生に分かりやすい言葉で伝え、共感を呼んでいます。業務体験や座談会、社員からのフィードバックなどを行い、オンライン開催で県内外から参加があるのも特徴です。



1日のスケジュール

テーマ マーケティング視点から考えるこれからのキャリアデザインと、デジタル広告のプロから広告戦略を学ぶ1日

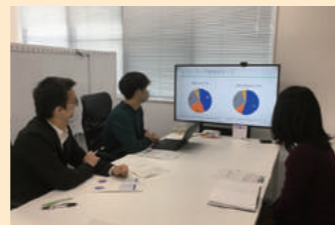
- 9:00 会社説明
- 10:00 マーケティング視点から考えるこれからのキャリアデザイン
- 11:10 先輩社員とぶっちゃけ！本音で座談会
- 13:00 あなたの知らないデジタル広告の世界
- 15:40 広告プラン企画・提案グループワーク
- 16:50 プレゼンテーション・フィードバック



番外篇

はじめての導入に最適！～複数企業取材型インターンシップ～

- Day1 事前研修 ※コーディネート団体が実施
- Day2 3日で最大6社訪問（オンラインor対面）
- Day3 社長と若手社員にインタビュー
- Day4 仕事体験ワークショップ など
- Day5 事後研修 ※コーディネート団体が実施



企業は半日のみの参加ではじめやすい！



事例2 体験型 [5日～2週間程度]

現場のリアルな雰囲気を感じるために、オフィスや工場内の見学、軽作業を体験。企業をより深く理解することができるプログラムです。

生活協同組合コープみやざき

[Company Profile] 宮崎市瀬頭2丁目10-26 / 従業員：2,185名

ゴール設定は、学生が企業の理念を理解し、それに添った行動ができること

「組合員さんの要望にスピーディに対応したい」という思いから、現場の職員に大きな裁量があるというコープみやざき。それはインターン生に対しても同じこと。「ありがとう」の言葉をもらうために何ができるのか、自ら考え行動できるよう、様々な現場を体験します。



5日間のスケジュール

テーマ 暮らしに役立ち、ありがとうと言ってもらえる喜びを体感

- Day1 新入協職員の基礎研修参加
- Day2・Day3 店舗研修（様々な部署を体験）
- Day4・Day5 共同購入の地域責任者の車に同乗研修

コロナ禍で注目が集まる共同購入事業。時代に即したビジネスモデルを間近で見ることができる。

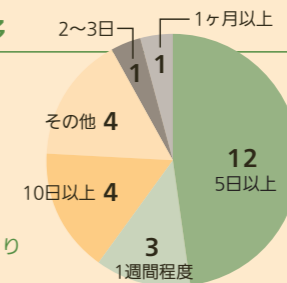


DATA

インターンシップの単位認定の要件は「5日以上」が最多

県内の高等教育機関（4年生大学・短大・高专等）の多くが、一定の要件を満たせばインターンシップを単位認定しています。このうち期間に注目すると「5日以上」とする要件が最も多くなっています。

※令和3年2月Capa+アンケート調査より（対象：9校25科目）



インターン生の声
宮崎大学
長友 萌花さん

写真や文字だけでは分からなかった魅力に沢山触れて、県外就職志望だった私がたった1日で意識が変わりました！



受入企業担当者の声
MANGO株式会社
採用戦略室
井本 翔さん

インターンシップは学生が将来を考える機会と捉え企画します。社員も巻き込み、それがエンゲージメント向上にもつながっています。



コーディネーターの声
NPO法人
グローバルアカデミー
新村 拓也さん

思いをもって実施されているので、学生向けイベントなどでその熱意が伝わるよう構成を工夫しています。



インターン生の声
高知大学
横田 三友紀さん

自分の「好き」を見つけることができ、「人（顧客）と直接関わる仕事に就きたい」という目標ができました。



受入企業担当者の声
生活協同組合コープみやざき
総務部
橋口 和貴さん

組合員さんが第一という企業理念を伝え、実際に現場に触れることで「ありがとう」につながる仕事を体感してもらっています。



コーディネーターの声
宮崎大学Capa+
黒木 順子さん

インターンシップ保険に関するご相談をいただくこともあるので、双方安心して参加できる具体的な提案を心がけています。

3 インターンシップ活用例

新規事業や商品開発に挑戦



事例3 実践型 [1ヶ月～半年程度]

1ヶ月から長いものでは半年の長期にわたり、企業の課題発見や企画立案、新規事業の立ち上げなど、企業が本気で取り組みたい事業と一緒にチャレンジします。

株式会社ピースホーム

[Company Profile]
宮崎市江平西1丁目1-21 / 従業員：35名

課題の洗い出しから分析まで PDCA を繰り返し、事業のエンジンに！

「家づくりの主役は家ではなく家族」が経営理念の株式会社ピースホーム。こちらでは数年前から長期間のインターンシップ生を受け入れています。目標設定が具体的で、社内メンター（相談役）を配しており、学生に寄り添う姿勢が人気です。



目標設定

- ・公式LINEの登録者50名獲得、LINE経由の相談者20名獲得
- ・新人営業の支援ツール作成
- ・不動産事業の魅力発信インターンシッププログラム作成 など



半年のスケジュール (オンライン・対面併用、活動頻度：週1～2日)

テーマ 安心して相談できる環境を SNS 戦略で発信せよ！

【STEP1 / 1ヶ月目】

施工や営業など家づくりの一連の流れを体験しながら、SNS戦略案を考え社長に提案

【STEP2 / 2～5ヶ月目】

戦略の検証・分析を繰り返しながらブラッシュアップ

【STEP3 / 最終月】

最終的な戦略を社内プレゼン



成果

- ・LINE新規登録者200名、相談申込10組獲得
- ・新人営業3か月研修の工程表完成 など

学生を期間限定の正社員と思って、本気で付き合い、事業成功に向けて努力することが必要。結果、学生が成長し、会社の成長にもつながる！



インターン生の声

宮崎公立大学
佐々木 さくらさん

知識不足・経験不足でも、「学生の挑戦」を応援してくださいました。悩んだ時は話し合う時間を作ってください解決の糸口が見つかりました。



受入企業担当者の声

株式会社ピースホーム
総務部
田邊 ひとみさん

学生のニーズを知ることができ、社員の成長にもつながる。そして、会社の魅力発掘ができるのが長期インターンの魅力です。



コーディネーターの声

NPO法人
グローバルアカデミー
桑畑 夏生さん

長期のインターンシップは、プログラム設計や学生のフォローがポイントです。コーディネーターを上手く活用してみましょう！

4 プログラムを設計してみよう

下記のワークシートを使ってどんなプログラムが設計できるのか考えるところから始めましょう。短期・長期にかかわらず、コーディネーター等のサポート機関と打合せをする際に、情報が整理されスムーズな導入につながります。

Q1. 緊急ではないけれど重要で、やりたいけど手をつけていないことは何ですか？3つ書き出してみましょう。

例) 新商品開発、SNSでの情報発信、社内の人材育成

1
2
3

Q2. Q1の3つを実現するために今すぐできる、小さな行動は何ですか？

例) 新商品のアイデアを10個出す、他企業のSNSをリサーチする、社員に改善点のヒアリングを行う

1
2
3

Q3. では、その小さな行動3つのうちの1つを専任の担当者に任せるとしたら、具体的にどんなことをお願いしたいですか？

例) 新商品開発：出したアイデア10個についてマーケティング調査を行う、調査の分析を行いニーズの高いもの3つに絞る、市場に売り出すための戦略を考えプレゼンする

1
2
3



ここまでできれば、あとはコーディネーターと相談するだけ！

※コーディネーターの役割については次ページ

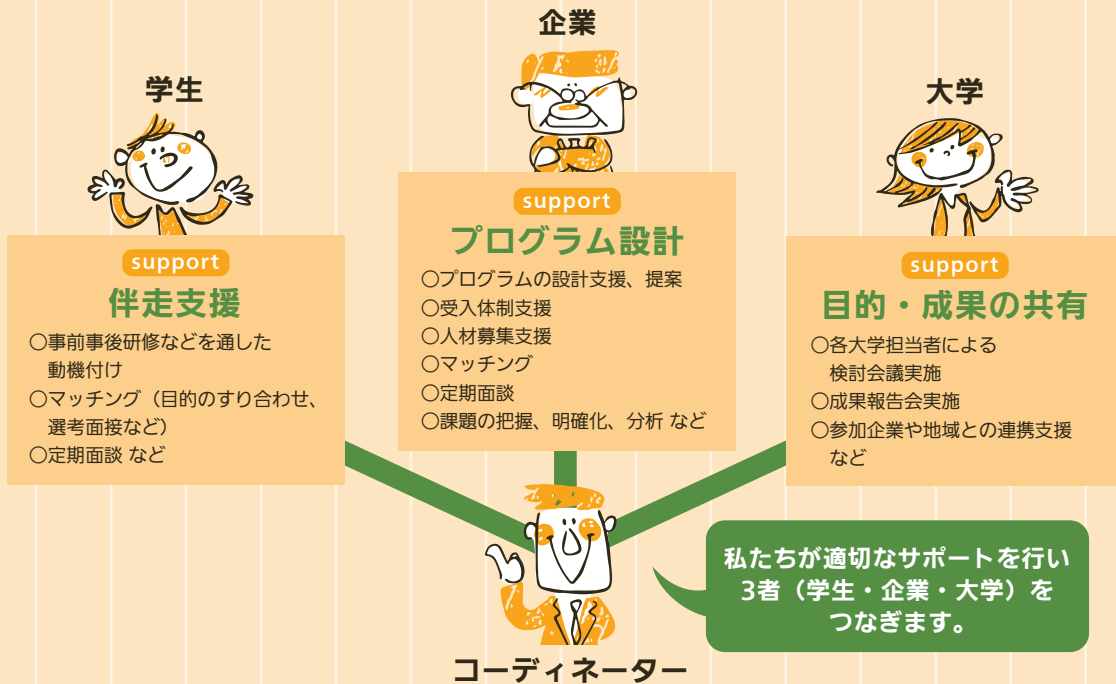


様々な場面でコーディネーターがサポートします！



■ インターンシップにおけるコーディネーターの役割とは？

- 企業、学生、大学のニーズをすり合わせ、目的を共有しながら伴走すること
- インターンシッププログラムを開発、運用、評価すること



コーディネーターに相談したいと思ったら

みやざきインターンシップNAVI



みやざきインターンシップNAVIは、宮崎県内の企業・団体のインターンシップ情報を検索できるWebサイトです。登録と利用は無料で、専任コーディネーターがプログラム設計などのアドバイスやサポートを行います。

宮崎大学 産学・地域連携センター 地域人材部門 Capa+ [キャパラス]



地域の人材育成と確保の拠点として、県内の産学官労官の連携によるプロジェクトに取り組んでいるCapa+キャパラス。様々なインターンシッププログラムを実施しています。※本誌P5掲載

NPO 法人 グローバルアカデミー



「宮崎を起点に世界とつながる教育」を、県内の産学官と連携しながら宮崎の若者に提供しており、県内大学で教壇にも立つコーディネーターが所属しています。※本誌P4、6掲載

みやざきインターンシップNAVI活用方法

STEP1 会員登録

新規会員登録画面よりユーザー登録を行います。

STEP2 プログラム登録

インターンシップのプログラム内容や実施期間を登録します。

STEP3 エントリー通知

学生からエントリーがあると企業のマイページに通知が届きます。

専任コーディネーターがプログラム設計や受け入れ体制づくりをサポート

STEP4 受け入れ可否の連絡

学生の情報を確認し、受け入れ「可」「不可」の回答をします。

STEP5 チャット機能を使っての調整

受け入れが決まった学生と日程などの詳細を調整します。

チャットでコーディネーターに相談することも可能

STEP6 実施

システムに実施日程の登録を行い、実施後はマイページに届くアンケートに回答します。

「自己紹介書」「誓約書」等の様式がダウンロードできて便利

[本誌に関するお問い合わせ]

宮崎県商工観光労働部 雇用労働政策課

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 県庁8号館3F TEL.0985-26-7105 FAX.0985-32-3887

- ◎参考資料 「成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド（基本編・活用編）」（発行：経済産業省）
「教育的効果の高いインターンシップ実践のためのコーディネーターガイドブック」（発行：経済産業省）
「地域人材コーディネーター養成講座テキスト」（発行：NPO 法人 ETIC.）
「北海道チャレンジコミュニティプロジェクト・パンフレット」（発行：NPO 法人北海道エンブリッジ）